

こうのす
歴史を描く

江戸から京都間の中山道は、東海道より距離が長いものの、大河や海がなく安全であるため、古来より重要な街道として往来されていました。江戸の日本橋から京都の三条大橋までは一三五里二町余（約五三四km）、滋賀の草津宿までは一二九里一〇町余（約五一七km）の距離でした。宿駅は板橋宿から守山宿まで六七宿あり、「鴻巣宿」は、慶長七年（一六〇二年）六月に、本宿（現北本市）から移動して成立しました。江戸から数えて七番目の「宿」であり、天保十四年（一八四三年）には、人口二二七四人、戸数五六六軒のうち、本陣一軒、脇本陣一軒、旅籠五八軒（街道平均二五軒）との記録があります。

**江戸時代から受け継がれる
ひな人形のふるさと**

近代関東三大ひな市（鴻巣・越谷・江戸十軒店）のひとつに数えられ、特に、着物の着付けは「関東一」と大評判でした。明治になると「鴻巣雛」の製作はますます盛んとなり、「県内では越谷六軒、大沢三軒、岩槻三軒に比べ、鴻巣の人





山はみどり 野に花 人にはこころ

